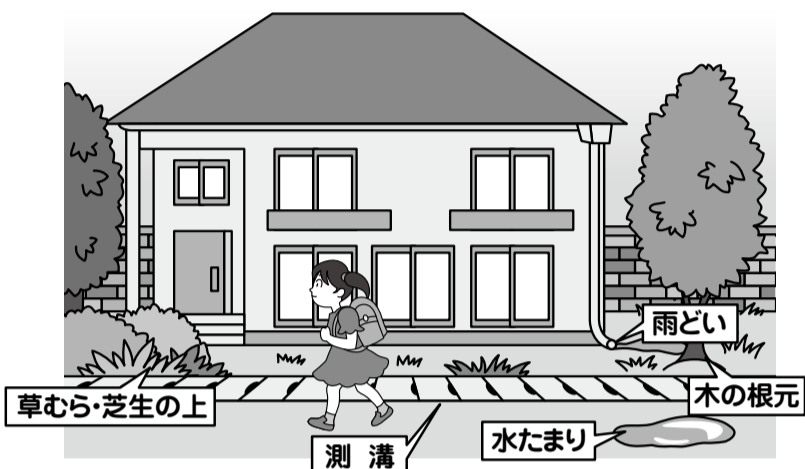


家庭で出来る低減対策

空間放射線量を減らす方法

一般家庭においては、次のような場所に放射性物質がたまりやすく、空間放射線量が高くなる傾向にあります。これらの場所では、対策を講じることで空間放射線量を低減できます。家庭で出来る低減対策について、ご協力をお願いします。

〈家庭で放射性物質がたまりやすい場所〉



- ①雨水が集まるところ及びその出口
建物の雨どい、側溝、排水口、雨だれが落ちている場所など
- ②植物及び木の根元
芝・草地、花壇、コケ、落ち葉だまり、木の根元など
- ③雨水・泥・土がたまりやすいところ
水たまりができやすい低くなった地面、縁石や塀際の土だまり、コンクリートと表土の境、コンクリートやレンガの割れ目など
- ④微粒子が付着しやすい構造物
錆びた鉄構造物、トタン屋根、茅葺き屋根など

ポイント

作業にあたっては以下のポイントを参考にしてください。

■服装

通常作業

●動きやすく通気性のよいもの(ただし、できるだけ肌を覆うもの)

- ・長袖、長ズボン、運動靴、長靴など
- ・軍手、ゴム手袋(重ねて着用)
- ・帽子、マスク(サージカルマスクなど)、タオル

水を扱う作業のときは、通常作業時の服装に加え、カッパ、ゴーグル(めがね)を着用しましょう。

■作業後

- ・手や顔をよく洗い、うがいをする。
- ・土や砂を口に入れないよう注意し、口に入った場合には、よくうがいをする。
- ・靴の泥をできるだけ落とす。
- ・使用した手袋、マスク、タワシやぞうきんは、よく洗うか燃やすごみとして出す。
- ・使用したスコップなどの用具類は、使用后よく洗う。
- ・作業に使用した衣服は洗濯する。(普通の洗濯で十分。洗濯後再使用可能。)



庭木の枝切りや落ち葉、雑草など

これらは燃やすごみですので、集めて燃やすごみとして出しましょう。

※木の枝は長さ50cm以下に切り、直径30cm程度の束で縛り、1回に出す量を2~3束にしてください



雨水ますや側溝の清掃

雨水ますや排水溝・側溝はタワシやぞうきんで清掃しましょう。アスファルトの部分は高圧水洗浄機などで清掃しましょう。

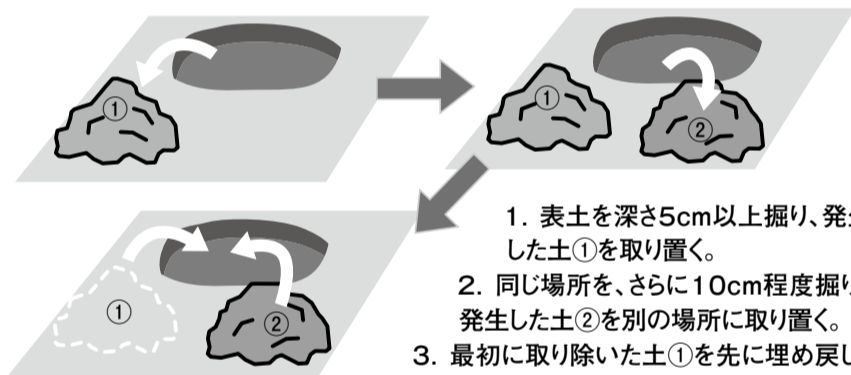


庭の土

土は燃やすごみとして出せませんので、天地返しを行いましょう。

※放射性物質のセシウムは土に吸着しやすいため、地表面にとどまりやすい特徴があります

天地返しの手順



1. 表土を深さ5cm以上掘り、発生した土①を取り置く。
2. 同じ場所を、さらに10cm程度掘り、発生した土②を別の場所に取り置く。
3. 最初に取り除いた土①を先に埋め戻し、続いて、その上に土②をかぶせる。

天地返しが難しい場所では、新しい土をかぶせる方法もあります。

※側溝や雨水ますで出た泥がある場合は①と一緒に埋めます

効果を確認してみましょう

低減対策の実施前と実施後に、測定器で空間放射線量を測定すると、低減対策の効果がより確認しやすくなります。測定器は市で貸し出しを行っています。

測定方法

地表面から50cm及び100cmの高さ(距離)における空間放射線量を測定します。測定する箇所で測定器を60秒間固定し、測定値を記録します。

食べ物による内部被ばくを減らす方法

放射線医学総合研究所によると、「野菜をよく洗う、煮る(煮汁は捨てる)、皮や外葉をむく、などによって、汚染の低減が期待できます」とされています。



緊急情報が登録先に

市川市メール情報配信サービス

「大気中の放射線量情報」も配信
11種類の中から必要な情報を選択できます

問 ☎334-1106 広報広聴課

下記の方法で登録すると、市川市の災害時の緊急情報などが配信されます。

info@city.ichikawa.chiba.jp
または右記のQRコードから空メールを送信し、送られてくるメールに記載されているURLをクリックしてください。配信項目は、登録後に変更できます。メールの受信には通信料がかかります。



放射線量測定器の貸し出し

貸し出し日時 平日午前9時30分~午後4時(1日単位)
貸し出し場所 市役所放射能対策課、行徳支所総務課、大柏出張所
予約受け付け(予約は電話でのみ受け付け)
☎704-0007 放射能対策課

